

山口県生協連

ニュース vol.234

発行: 山口県生活協同組合連合会
〒753-0083 山口市中後河原 210
TEL: 083-923-5614 FAX: 083-928-5416
E-mail: yken.ccu@smile.ocn.ne.jp
<http://yamaguchi-kenren-coop.jp/>

2021年1月15発行



謹賀新年

コロナ禍にあって 共助の組織としての 役割發揮を目指します



山口県生活協同組合連合会
会長理事 岡崎 悟

新年あけましておめでとうございます。

昨年も山口県生協連ならびに生協連加盟の13生協へご支援ご協力を賜りましたことに心よりお礼申し上げます。

2020年は、新型コロナウィルスが世界規模で急速に拡大し、これからの日本、世界の在り方に大変革を迫る危機を生み出した年となりました。コロナ禍により、格差拡大、米中や新たな国家対立、自国第一主義、保護主義的な思想やナショナリズムの台頭等の問題は一層尖鋭化が進み、「分断の危機」の深まりが危惧されています。

我々の暮らし方や働き方においても大きな制約を受けることになり、健康上の問題だけでなく、経済的な困窮や差別や人権問題など様々な影響を個人、社会にもたらしています。

県生協連では、この未曾有の危機に対して各会員生協の組合員どうし、また、他の会員生協、他の団体等とのつながり、協同を強めることによって、この危機を乗り越えられるよう連合会としての役割を果たしていきたいと思います。

コロナ禍は大変な危機ではありますが、ひるがえって大変革のチャンスとポジティブにとらえれば、将来に向けて整備すべきことに積極的にチャレンジできる時とも言えます。アフターコロナを見通して、今できることをしっかりと進めていく年にしたいと思います。

どうぞ本年も旧年と変わらずご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



山口県生協連 2020 年度第 1 回役職員研修会報告



山口県生協連主催 2020 年度第 1 回役職員研修会を開催しました。

日時：2020 年 9 月 17 日（木） 13：00～14：30

場所：コープやまぐち会議室

参加者数：会員生協役職員 55 名

講師：広島県生活協同組合連合会 専務理事 高田公喜 氏

演題：「平和運動の現状と今後～核兵器禁止条約の発効に向けて～」

初めに生協連の荒瀬専務が、今回はコロナウイルス感染対策をした上で、研修会を開催させていただくこと、平和学習の機会が最近少ないので今回の研修で学んで欲しいとあいさつをしました。

生協連の岡崎会長は、コロナ感染防止から参加できない生協もある中、本日集まっていたいことに感謝の意を伝え、日本が今、将来への不安を抱える中、どう主体的な思いを持って行動するのかが生協人として大事であり、自分の意思を持てるよう学習していただきたいとあいさつをしました。



岡崎会長



荒瀬専務

続いて広島県生協連の高田専務にご講演いただきました。

・生協はなぜ平和の取り組みをするのか？ 生協には平和運動・継承の歴史があり、平和運動はより良い暮らしをつくる活動であり、共助思想の価値観、どのような社会を目指すかというビジョン（SDGs）と合致した取り組みであるから。平和は待っていても来ないので作りに行くことが必要。

・なぜ人類は核兵器に頼るのか、核兵器をめぐる情勢はどう動いているのか？ 核抑止力や核不拡散条約などについてこれまでの経過、そして現在、核兵器禁止条約の批准国がもうすぐ 50 ヶ国になり発効されそうなこと、しかし日本は批准していない、核保有国は条約に反対していることなどの現状について話していただきました。

・『われわれの世代で核兵器廃絶を夢にしないために』 私たちはどんなふうに平和行動をとるべきか？

夢物語にしないため、1 人でも多くの人が“核は無くさないといけない！” そう思ってもらうために核兵器廃絶にむけた活動、取り組みを行っていること。私たちは、平和に対して無関心・不寛容にならないことを意識して行動しなくてはならない、と締めくくられました。



参加者からは、「平和に対して無関心・不寛容にならないためにも平和活動を継続的に行っていかなければならぬと思う。平和について改めて考える機会となりました。」「平和は待っていてもやって来ない。作りにいかないと“と言われているように私たちのアクションはとても大切だと思います。」「世界唯一の被爆国である日本が核兵器禁止条約を批准しなかったのは本当に信じられないこと。受身・無関心では何をやってもダメ。自ら関心を持って行動を起こすことが大切だということをあらためて感じた。」などの意見が出されました。



理事会研修を医療生協健文会で開催

毎年、定例理事会の開催を会員生協で開催することで、会員生協相互の理解と役員の学習の場としています。今年度は医療生協健文会で研修を行いました。

日時：2020年8月6日(木)

13:30～15:00

医療生協健文会の森専務理事より、事業、政策、活動、経営概況などをご説明していただき、リニューアルされた「協立歯科診療所」と「協立グループホームかいなん」などの施設を見学させていただきました。



広島・長崎原爆忌、原爆死没者追悼・平和式典

被爆75周年の年でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して開催されました。

広島原爆忌

8月6日

(一財)山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑にて

参列者約30名

長崎原爆忌

8月9日 ゆだ苑にて 参列者約20名

第46回山口原爆死没者追悼・平和式典

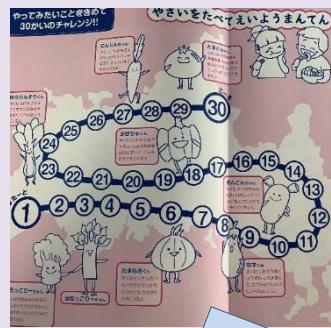
9月6日 ゆだ苑にて 参列者約50名

3名の分骨と2名の名簿の追加で、累計149名以上の分骨と828名の死没者名簿となりました。



「健康チャレンジ 2020」に取り組みました。

会員生協である医療生協健文会が毎年実施されている「健康チャレンジ」「きっずチャレンジ」を今年も共催して取り組みました。医療生協が推進する健康習慣に基づき、コースの中から自分にあった好きな取り組みを選んで、60日間取り組みました。



チャレンジメニューは A : 食生活 B:
運動 C: 睡眠・休養 D: お口の健康
E: リラックス F: 私の健康法の 6 項目

きっずチャレ
ンジは 30 回の
チャレンジと
なっています。

今後の予定



監事(監事スタッフ) 研修会	1月 22日(金)	WEB 参加可 講師にはオンラインで研修をしていただきます
県連第 2 回役職員研修会	2月 18日(木)	『働き方改革の実践に向けて』 やまぐち働き方改革支援センター 統括アドバイザー 城上哲郎 氏 WEB 参加できます。
第 5 回県連理事会	3月 9日(火)	

編集後記

先日は数年ぶりの大寒波で事務所の水道は凍結、まわりの道路も一面真っ白となりました。つららもあちこちにぶら下がっていました。

今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、例年開催している生協連役職員ボウリング大会、報道懇談会との懇談会は中止となりました。コロナウイルスの影響を大きく受けた会員生協には、協力や支援などを起こっています。

